

本校の概況

平成3年4月、生徒数1,500名を抱える早岐中学校から分離独立し、広田中学校として新設されてから30年目を迎えました。

校舎は江戸時代に平戸藩と大村藩の境界に置かれた番所跡に近く平戸往還として人々の往来のあった現在の市道である広田長畑線に沿った田園の中に建設された。

校地は広々とし、建物はすべてが円柱で支えられておりモダンな中にも落ち着きを見せている。

校舎正面は、ステンドグラスをあしらった明り窓がつけられ、入口には「広田中学校の限りない発展と、ここに集う者の強い意志とたくましい体力、そして優しさと創造力に富む知性あふれる豊かな人間性の成長」を願って建てられた玄武岩による六角柱のモニュメントがある。

校舎に囲まれた中庭は、モザイクタイルを使った小径や、ひと休みするためのベンチも設けられている。

道路に面した当校の壁面には、地元で昔から伝わる浮立や夏まつりといった伝統行事が、長さ30mのレリーフで表わしてある。このようにすばらしい環境の中で学べることへの感謝と新設校としての歴史的出会いの感激を胸に、生徒、教職員共々、新しい学校づくりへ取り組んできた。

平成14年度の校区変更に伴い、権常寺町・権常寺一丁目が早岐中学校区となり、現在の校区は、中原・広田・広田一丁目～広田四丁目・峰岡・浦川内・重尾の9町からなっている。この結果、本校への進学は、広田小学校と花高小学校の2校からであったのが、広田小学校からの1校となった。

住宅地域や商業地域として発達してきた結果、宅地化が急速に進み、小学校では1,000人を超える児童数となったため、中学校敷地内に小学校6年生の新校舎を建築し、平成29年度からは小中一貫型小学校中学校へ移行した。4年目に突入した現在、小学6年生173名、中学生494名、合計667名の児童生徒が交流しながら共に学び合っている。これから小中一貫型教育のさらなる充実と発展に努めていく所存である。

さらに、一昨年、厦門外国語学校との友好学校提携に関する協定書を調印したことにより、昨年度からの5年間、日中交流の活動を推進していく予定である。

校章の意味するもの



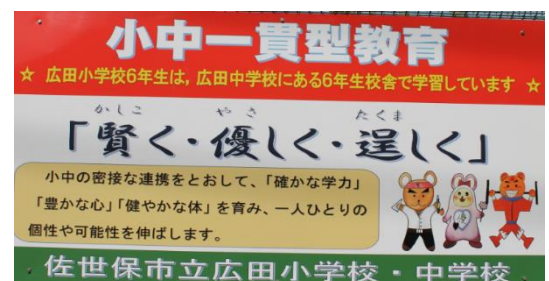
広田は古くから、美しい山々に囲まれた田園が広がる中を金田川が流れ、その田園に白鷺の群れが多く舞い降りていました。その風景をデザインしたものです。

中央の『中』はモダンな校舎とひとときわ光彩を放つ力強さを表し、外形の緑どりは風光明媚な回りの山々を表現しています。

円形の線は金田川の静かで優美な流れをライトブルーの線で表し、左右対称の白鷺は純真な心で支えあい、共に育み高めあう精神を象徴しています。



令和2年4月



所在地 佐世保市重尾町188番地
(電話39-2926)

校地面積 33,475㎡

校舎 4,606㎡

(普通教室16・特別教室14室)